

大仙市アーカイブズ ニュースレター 創刊号



大仙市マスコットキャラクター
まるびちゃん

創刊にあたり

大仙市アーカイブズは、市民や行政の活動記録を地域の大切な財産として保存・活用するための施設です。平成29年の開館から今年で3年目を迎えました。

アーカイブズの活動を、より身近に伝えるため、「ニュースレター」を創刊しました。

東北初の市町村公文書館として
平成29年5月3日に開館。



探検！アーカイブズ ～西仙北小2年生フィールドワーク～

6月13日、地元、西仙北小学校の2年生の子供たちが、フィールドワークの一環として、アーカイブズにやってきました。

「元々はお父さんたちが通った小学校だった（アーカイブズは旧双葉小の校舎を改築して建てられました）」、「みんなの町の歴史や文化を知るために絵図や写真を大切に保管しているところ」など、アーカイブズについて勉強しました。

江戸時代の秋田県と山形県を描いた「出羽一國御絵図（でわいっこくおんえず）」（複製）や、昭和30年頃の写真は、子ども達にとって未知との遭遇だったのでしょうか？初めは何が何だか分からない様子でしたが、説明を聞いて、興味がどんどん湧いてきたようです。

絵図に描かれた雄物川をなぞりながら「ぼくの家はここあたりかな？」「北が左側だから、頭を横にすれば見やすいよ」など、資料に触れ、少し解説するだけで、どんどん自分たちで勉強を進めて行きました。



みんなが住んでいる秋田県の江戸時代の絵図です。佐竹のお殿様が持っていたんだよ。



昭和30年頃の写真に写った、当時の服装や薪を背負っている姿に興味深々。

西仙北町史資料 ～現在作業中～

アーカイブズに移管された西仙北町史編さん事業の資料整理を進めています。

『西仙北町史』は平成7年1月発行。西仙北町では町史のほか、資料集を昭和47年から継続して発行しており、住民が中心となった編さん作業が進められてきました。

旧家所蔵の資料について、将来の散逸を防ぐため、正副2部の複製本を作成して分散管理するなど、当時、調査を行った方々の資料保存への意識の高さが伺われます。

先輩たちが残した成果をみんなが共有できるように、現在のデジタル技術で再整理し、検索できる環境を整えるため作業を進めています。

1点ずつ中身を確認し
目録を作成しています。



整理作業の様子



大書庫の温度管理 ～夏に向けて遮熱シート～

大仙市アーカイブズのように旧校舎を活用した公文書館は全国的にまだ少ないケースです。東北では前例がない中で温湿度管理や紫外線対策、害虫忌避等に取り組んでいます。

改修前は体育館だった大書庫には、室温の寒暖差が大きいという課題があります。室温を資料保存に最適な22℃に保つため、西陽が照り付ける窓に、簡易遮熱シート（アルミフィルム）を貼りました。

雪国のイメージが強い秋田県ですが、7月から8月は最高気温が35℃前後まで上昇します。温度変化も資料劣化の一因となるため、より良い保存環境のために対策を続けていきます。

大書庫では保存箱に入れてあります。
室温が大きく変化しても、保存箱内の温度変化は小さくなります。

シート処理済

シート処理中



いべんと瓦版

◆なるほど！かんたん！

くずし字講座

小学5・6年～中学生向け

7/26(金) 場所：大仙市アーカイブズ

7/30(火) 場所：はなび・アム

8/1(木) 場所：大仙市アーカイブズ

自宅で出来る アーカイブズ

自宅にある古い写真や
古文書を大切に保存する
ためのプチ情報をお届け

資料には、風通しが一番

- ・隙間をキープ
本棚や押し入れは
奥まで押さずに

湿度の目安は50～60%



梅雨
湿気は大敵！

